

八王子市議会レポート

No.65 2014年12月15日



つくる、つくろう通信

陣内やすこ 八王子市議会議員・無所属市民派
農業委員会委員

北野台在住

編集／発行：市民自治の会（陣内やすこ）

〒192-0913 八王子市北野台4-16-2

TEL 042-636-8631 FAX 042-636-8640

3期目 活動中!

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL <http://jinnai.ne.jp/>

議員の期末手当、アップはNG!

陣内やすこの反対討論（社民ネット自治の会）

第4回定例議会の初日、市長から、職員等の給与改定の議案が提出されました。職員は、10年以上にわたって、給与が下がり続けるという事態が続いていました。今年の東京都人事院勧告で、職員の給与+0.13ヵ月、期末勤勉手当+0.3ヵ月があったことによるものです。そして、なんと、それに合わせて、報酬が2003年以降、下がっていない市長や教育長、議員の期末勤勉手当のアップの議案が出されてきたのです。とんでもない!

・議員の給与は高すぎます。八王子市の勤労者の給与収入平均が369万円、2008年から見て、27万円も下がっているのです。私は、議員の報酬は、それぞれの自治体の給与平均程度にして、あと、透明性を図った政務活動費の支給で、議員活動をサポートする仕組みがいいのではないかと考えています。

・中核市になるのだから、議員の報酬も上げてもいいのではないかと、といった話がちらほら出ているのですが、まずは、市民生活の実態をしっかりとみるべきです。

・議員は常勤ではありません。年4回の定例議会や各種委員会などへの出席がありますが、年間120日程度です。それも、朝8時30分から17時15分と、職員のような勤務時間の拘束もありません。もちろん、毎日が議員活動といえますが、拘束時間から考えると、期末手当の支給対象とは言えないのではないのでしょうか。

反対したのは、私たち会派の3人とあと2人だけ。

政務活動費の支出について、さらなる透明性を。



はじめの議会報告会がありました。

議会基本条例が今年4月にでき、開かれた議会を目指すことが確認されました。そんな中での取り組みの一つが、議会報告会の開催です。なかなか開催の合意が取れなかったのですが、中核市移行について、という大きなテーマもあったことから、開催にこぎつけました。

当日は、なんと背広軍団が壇上に並びました。常任委員会や特別委員会の委員長が並んだのですが、オール男性。いかに、八王子議会で、女性議員の進出が進んでいないか、ということが、一目瞭然でわかることとなりました。また、女性がいても、委員長や議長といった役職に就けない、という声もあります。八王子の女性議員は現在9名。24%です。202030といったら、2020年までに、指導的な立場に女性を30%、という政府方針があるのですが、政治参画は、遅れています。また、八王子の女性管理職割合も、わずか10%。職員採用をみると、男女同数となっているので、女性管理職30%もそう遠くない?

第4回定例議会 陣内 やすこの一般質問

■男女平等施策、どこまで進んだか？

陣内：男女平等参画条例を持つ都議会において、公然と女性差別が議員という公人によって、行われたことを重く受け止め、決議だけでなく、再発防止の道筋をしっかりと立ててこそ、都民の対する信頼回復の一步となる。しかし、条例違反であることさえ触れられていない、信頼回復決議という実態をどう感じているのか。

市長：都議会においては、信頼回復及び再発防止に努めるべき決意を表明しているところである。議会における不規則発言は許されないものではないと、そのように考えている。

あれれ、女性差別発言並びにセクハラが許されていていいのか、と聞いた質問に対して、それには答えず、やじを許されるよ、との発言です。八王子の会議規則には、たしか、不規則発言をしないように、という規定があったのではないかしら？

■市民活動、どこまで進んだか？

陣内：市民活動の現状の課題分析と今後の方針を、どのように考えているのか、単身高齢者の増加や在宅介護、障がい者の地域移行などにみる地域福祉課題、高齢化による担い手不足、働く場としての地域という課題がある。今後の10年をどう見通すのか。

市民活動推進部長：課題は担い手や財源の確保、町会・自治会や企業とのネットワークづくりがある。地域で活動するさまざまな団体が互いに連携し、地域の課題解決に取り組めるような環境づくりを行っていく。

陣内：市民活動を支援する、新たな枠組みが必要ではないか？介護保険サービスの一部新総合事業への移行で期待される地域活動や配食サービスなどを充実させる新たな枠組みが必要ではないか？

市民活動推進部長：地域に根ざした市民活動がなかなか広がっていかない理由として、資金や人材面の課題がある。市民活動支援センターによる情報収集などによって、支援を行い、サービスの担い手となるような団体が多くなるよう努めます。

行ってきました。赤山地下壕



館山市にある地下壕視察に行ってきました。

八王子市は金毘羅山を公有地化したことで、その地下に眠る浅川地下壕をキチンと保全し、市民に戦跡として公開していくことが求められています。どうすすめるか、そのための現地視察でした。

ここ館山は、横須賀と相對して、東京湾を守る要塞基地だったのです。学芸員から、しっかりと市が保存に取り組んでいる話をお聞きしました。本気度です。

戦後70年を前に、改めて、平和が大事

サービス付き高齢者住宅の実態調査の一員として、いくつかの施設を訪問しています。まだまだ、よくわからないサ高住。調査結果は

